

平成 25 年度 事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 つくし会

1 事業の成果

研修活動として、本会の研修生および従業員に対して研修会を開催し、マッサージおよびストレッチの実技指導、そして症例検討を行うことで知識の向上、リスク管理の習得を図り、さらには治療院経営についての学習を行ってきた。これらの研修会に参加することにより各人が抱える問題や課題解決につながったと思われる。

また、その成果を特別支援学校などの講演において伝達講習し、生徒の進路決定の参考にさせていただいた。

訪問マッサージ事業では、障害者の社会参加、そして社会資源の有効活用として、視覚障害マッサージ師を雇用し運営してきている。在宅で寝たきりのため、日常生活に不自由を感じておられる利用者様宅を訪れ、少しでも快適な日常生活を送っていただき、”生きがい”を感じていただくためにマッサージおよび機能訓練を行ってきた。利用者様の評判も良く、徐々にあるが問い合わせも増えてきた。

研修活動および訪問マッサージ事業については、本会運営会議において、問題点および課題を明確にし、解決策を話し合い、円滑な運営に向けて取り組んできた。

教材研究では、NPO法人「ロバの会」に協力をいただき、『'13 国試Q救隊』を発行することができた。発行は5年目を迎えており、あはき師養成学校および受験生には浸透しつつあり、なおかつ概ね好評で、その成果は国家試験合格という報告をいただき、本会の目的を十分に果たしていると考える。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

【研修活動】

本会の事業活動の一つである「研修活動」として、研修会を平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までに 28 回(2～4 時間/回)開催した。対象は、視覚に障害を持つあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師のべ 90 名で、指導者はのべ 49

名であった。なお、参加者の多くは京都府在住であるが、岐阜県からの参加者もいた。

本会の研修会は、視覚障害によるハンディをカバーするため、技術指導が行き渡るように少人数での開催を心がけてきた。そのことにより、各参加者が納得できるまで丁寧な指導を行い、実際に技術が身につく研修会を目指している。研修の内容は、マッサージの基礎練習（7回）、普段の臨床に直結する症例検討（5回）、経営の基礎としての保険制度から広報活動（3回）、そして、ストレッチ（13回）に重点を置き、筋の生理および走行、主な筋のストレッチを行ってきた。研修会の内容については、会員向けのメーリングリストで報告し、参加者増加に向けて努力してきた。

参加者からは「少人数であるので十分に技術指導が受けられた」「基礎的なことを学ぶことで自分を見つめ直せた」「臨床ですぐに使える技術を学べた」「情報交換が有意義であった」などと大変好評を得ているところである。

この研修会の成果については、各個人が日々の臨床において、患者様の痛みを和らげるのに役立っていると報告を受けている。

【臨床見学】

本会がこれまでに行ってきた全国の特別支援学校等からの臨床見学の受け入れも引き続き行った。

平成 25 年 5 月 31 日（金） 岡山県立岡山盲学校 理療科生 4 名、教員 3 名

主な内容としては、「訪問マッサージ事業の概要」「治療院経営の実際」「マッサージ施術の基礎」「施術の実際」などである。これらを見学生に伝えることで、モチベーションの高いあはき師の育成の一端が担えればと考えている。

【訪問マッサージ事業】

東向日・南丹治療院の 2 ヶ所を運営してきた。

平成 26 年 3 月 31 日現在、施術者は正職員 3 名、パートタイム職員 2 名、ドライバーは、正職員 2 名、事務員は正職員 1 名である。

利用者様については、入院、ショートステイ、死亡などもあるが、月平均の保険料は約 70 万円である。

【教材研究】

平成 25 年 6 月 5 日にあはき師国家試験対策問題集『'13 国試 Q 救隊』を発行した。

学校向け 27 個、個人向け 12 個、合計 49 個を発行した。

【講師派遣】

平成 25 年 10 月 13 日(日)に視覚障害者生活情報センタ「ぎふアソシア」において、岐阜県視覚障害福祉協会主催で開催された「平成 25 年度三療部学術研修会」に講師 2 名を派遣した。

テーマは、「視覚障害マッサージ師が行う訪問マッサージの現状と課題」であり、視覚障害あはき師 50 名が参加した。

主な内容は、「つくし会について」「訪問マッサージ事業について」「マッサージ実技の基礎について」であった。

平成 25 年 11 月 3 日(日)～5 日(火)に全国障害者総合福祉センター「戸山サンライズ」において、一般社団法人全日本視覚障害者協議会・全国病院・介護マッサージ問題連絡会・全国理料教育研究会・東京視覚障害者協会主催で開催された「第 10 回あはき運動交流会」に座長およびシンポジストとして講師 1 名を派遣した。

テーマは、「NPO 法人が行う視覚障害マッサージ師による訪問マッサージ事業」であり、全国の視覚障害あはき師のべ 250 名が参加した。

主な内容は、訪問マッサージ分科会では「利用者様の確保について」「同意書取得の工夫について」「利用者様とのトラブル回避について」「リスク管理について」をテーマとして運行した。シンポジウムでは「差別化と信頼性向上を目指して」というテーマで発言した。

【広報啓発活動】

平成 26 年 1 月 19 日(日)にひと・まち交流館京都で一般府民 75 名に対し、府民健康講座を開催した。

テーマは、「認知症」であり、認知症の原因、症状、治療法、予防法について、大矢治世医学博士、白畠庸医学博士の両先生に講演していただいた。

平成 25 年 5 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、デイサービスセンター、在宅療養者宅などを巡回し、看護師、ケアマネージャー、ヘルパー、在宅療養者および家族に対して、リーフレットを用いて、視覚障害マッサージ師が行う訪問マッサージについて説明した。